

令和6年度自己評価表【最終】

【学校教育目標：自ら学び、心豊かで自己表現できる生徒の育成】

江田島市立三高中学校

	中期経営目標	短期経営目標	評価項目	評価指標	実績値	目標値	評価(自己評価の結果)		改善策
					令和5年度	令和6年度	令和6年度(上半期)	令和6年度(下半期)	
確かな学力	課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育成する。	基礎・基本の定着を図る。	江田島市学力調査	正答率(国・数) (令和6年度12月調査の出版社の目標値と全国平均との比較)	【現1学年】(4) 国71.1% (目標値64.0 全国 66.6) 数68.7% (目標値71.1 全国 73.8)	出版社が設定する目標値を上回る生徒の割合50%以上	R6 12月実施予定 【3年生】 【全国学力・学習状況調査】 国44%(国58.1 県58 市54) 数41%(国52.5 県52 市44) *6名実施	【現1学年】 国72.1% (目標値57.5 市 64.1 全国 59.9) 数70.5% (目標値55.2 市 60.5 全国 56.2)	【江田島市学力調査結果における分析から】 ・4名とも、小学生の頃と比べて数値が上昇している。 国：「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている」に課題がある。 一読書活動を通じて、小説における情景描写や会話から登場人物の心情を把握する力を付ける。 数：関数(比例・反比例)の領域において、「与えられた情報から正しい式やグラフ、座標を求める」に課題がある。 一問題文を正確に読み取り、表、式、グラフにあらわすことができるよう、繰り返し問題演習をする。 ・改善計画を作成、個々に応じた取組及び授業改善を図る。
		確かな学力を向上させる。	「主体的・対話的で深い学び」授業づくり 単元内自由進度学習の実践・研修を通して実施	生徒アンケートにおいて、肯定的回答の割合 ・自ら進んで学習に取り組んだ ・自分のペースで学習に取り組んだ ・学習内容がよく理解できた	新規	肯定的回答 90%以上	92.3% (12人) 100% (13人) 92.3% (12人)	61.6% (8人) 84.6% (11人) 77.0% (10人)	・各教科で指導や発問を工夫し、探究的な学習を進める。 ・自分で選択をして学習を進める活動を取り入れる。 ・単元内自由進度学習を学び、実践に活かす。 ・小テストを活用し、学習内容の定着を把握し、授業に活かしていく。
豊かな心	「時を守り、場を清め、礼を正す」ことの意義を理解し、自ら実践できる生徒を育成する。	場を清めること、時を守ること、あいさつ、返事の意義を理解しながら実践し、社会でも通用する生徒を育成する。	「時間を守る」「整理整頓・掃除をする」「あいさつ・返事をする」(3項目)の徹底	生徒アンケートにおいて、「よくあてはまる」と回答した割合 ・時間を守って行動している。 ・気持ちのよいあいさつができる。 ・呼名に対して、「みたか」の返事をしている。	()は肯定的回答割合 55% (11人/20) (100%) 50% (10人/20) (95%) 60% (12人/20) (100%)	50%以上 (7人/13) 61%以上 (8人/13) 50%以上 (7人/13)	46.2% (6人) 23.1% (3人) 46.2% (6人)	38.5% (5人) (100%) 46.2% (6人) (100%) 38.5% (5人) (92.3%)	・授業の開始に余裕をもてるように準備や声掛けを行う。 教職員も授業の終了時間を意識する。 ・継続して誰にでも気持ちの良い挨拶を心掛けるように指導をしていく。 ・小学生の見本となるように意識を高める。 ・入試や卒業に向けて指導・評価を継続する。
	共働する力を育成する	小学生を思いやる気持ち、仲間と協力して活動する力を育成する。	小中合同の行事や総合的な学習の時間を充実させる	生徒アンケートにおいて、肯定的回答の割合 ・小学生を思いやって行動した。 ・友人と協力して活動した。 ・異年齢の人と協力して活動した。	新規	肯定的回答 90%以上	77.0% (10人) 100% (13人) 92.3% (12人)	84.6% (11人) 92.3% (12人) 92.3% (12人)	・先輩は後輩に、後輩は先輩にできることをそれぞれが主体的に考えて取り組んでいく。 ・ケガ等はなかったが、引き続き3学期も配慮しながら行動していくよう指導する。 ・②③については、閉校記念行事等に向けて協力して活動する機会を設ける。
健やかな体	組織的に体力づくりを推進する指導体制・方法を構築する。	運動有能感の向上へ向けた体力づくりの取組を推進する。	マネジメントサイクルに基づく、組織的・系統的な業間運動等の取組等の推進	生徒アンケートによる、運動有能感の合計の平均得点(「身体的有能さの認知」「統制感」「受容感」の合計48点)	37	38以上	34.9	38.9	・業間運動や体育の授業で他者とのつながりや充実感・達成感を感じられるようにしていく。
その他	教職員の服務規律の厳正確保を図り、信頼される学校づくりに努める。	働き方改革を意識し、行事の精選や業務内容の効率化を図り、教職員がゆとりを持って校務を遂行する。	働き方改革の推進	・時間外勤務時間は月当たり45時間を超えない。 教職員アンケートによる肯定的回答割合 ・生徒と向き合う時間が確保できている。 ・職務にやりがいを持ち、充実感がある。	91.7% (11人/12) 100% (11人/11) 100% (12人/12)	90%以上 (9人/10) 100% (9人/9) 100% (10人/10)	90.0% (9人) 100% (9人) 100% (10人)	90.9% (10人) 90.9% (10人) 100% (11人)	・取組の継続(定時退庁日、時程の工夫、積極的生徒指導等) ・年度末に向けて時数管理と調整を行う。 ・統合に向けて生徒と共に取り組むことで、生徒の成長を実感し、教職員自身も自己有用感や達成感を持つことができるよう一丸となって取り組む。
		積極的に情報発信を行い、保護者から通わせたい学校づくりを推進する。	地域・家庭への情報発信・受信 (学校だより、保健だより：月1回以上発行、HP：週1回以上更新)	保護者アンケートにおいて、「よくあてはまる」と回答した割合 ・教育活動に満足している。	60.0% (12人/20) (肯定100%)	61.5% (8人/13)	84.6% (11人)	92.3% (12人/13) (肯定100)	・学校だより等の受取手を意識した発信内容の質の向上やHPのタイムリーな更新で学校の取組を保護者・地域にお知らせする。 ・進路関係や生徒指導上の課題等に対して、早期対応及び丁寧な保護者連携を事後も継続して行い、さらに相談しやすい関係づくりをすすめる。 ・閉校に向けて、保護者・地域と連携しながら取り組む。